

日付：2022/07/19

氏名：木澤 祐人

学籍番号：2094572t

情報管理 レポート課題 12

・データ処理や人工知能に関して興味のある技術、将来こんなことができればいいなと思うこと

私はかねてより、医師としてではなく、工学の立場から医療に貢献することに興味がありましたので、最近は医療分野における AI の活用に関心を抱いています。

病気の診断、治療法や使用する薬の選択など、さまざまな難しい判断を求められる医療現場において、AI の活用は人為的なミスを減らすだけでなく、膨大なデータに基づくより正確な判断ができると考えられます。このような AI の強みは、今後ますます発展していくビッグデータ社会において、大きなメリットをもたらすはずです。

また、医療分野で AI が特に有用であると考えられる理由が、より多くの人に、より高度な医療を、等しく提供できる点にあります。私は以前から、かかる医師によって診断される病気が異なる、大きな病院でしか見てもらえない場合がある、などといった、従来の医療の不確実さ・非効率さに疑問を抱いており、これを医学ではなく技術の側面から解決できないか、と常々考えておりました。もし、医療 AI が普及し、より多くの地域で、より多くの人が、そしてより簡単にその恩恵を享受できるようになれば、地域医療の発展など、医療体制のさまざまな面における改善が期待できると考えています。

・授業の感想

授業の資料が簡潔にまとめられており、非常にわかりやすく感じました。単に手法や数式を羅列するのではなく、授業のようにそのつながりや流れを含めてまとめられていた点が、非常に学習しやすかったです。

ありがとうございました。